

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
4 6	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol drinking and one-carbon metabolism-related gene polymorphisms on pancreatic cancer risk. 一炭素化合物代謝酵素関連遺伝子多型と飲酒の膵臓癌に及ぼすリスクについて	
執筆者	
Suzuki T, Matsuo K, Sawaki A, Mizuno N, Hiraki A, Kawase T, Watanabe M, Nakamura T, Yamao K, Tajima K, Tanaka H.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2008 Oct;17(10):2742-7.	
キーワード	
一炭素化合物代謝酵素、遺伝子多型、膵臓癌、葉酸関連酵素、症例対照研究	
要 旨	
<p>目的： 飲酒の膵臓癌に対するリスクに関する研究は数多くなされてきたが結果に一致を見ない。</p> <p>方法： われわれは症例対照研究にて飲酒の膵臓癌リスクに及ぼす影響について一炭素化合物代謝酵素関連遺伝子多型との相互関連を視野に入れて検討した。対象とした遺伝子多型はメチレン四水素葉酸還元酵素(MTHFR C677T)、メチオニン生成酵素(MTR A2756G)、メチオニン生成酵素還元酵素(MTRR A66G)、およびチミジル酸生成酵素 (TS) の縦列反復数である。157 人の膵臓癌患者と 785 人の年齢、性がマッチした対照例について遺伝子多型を解析した。ロジスティック解析を用いてオッズ比(OR)と 95%信頼区間(95% CI)を求めた。</p> <p>結果： 大量飲酒は膵臓癌リスクを高める傾向にあったが有意差は境界値にあった (OR=1.90; 95%CI、1.00-3.62)。どの遺伝子多型も多型単独では膵臓癌リスクに影響を及ぼさなかった。飲酒を考慮して層別解析すると飲酒の膵臓癌リスクに対する影響は MTHFR 667CC 型、MTR 2756AA 型、あるいは MTRR 66G 対立遺伝子保有者において認められた。大量飲酒者を非飲酒者と比べると MTHFR 667 CC は OR=4.50 (95%CI、1.44-14.05)、MTR2756 AA 型は OR=2.65 (1.17-6.00)、また MTRR 66G 対立遺伝子保有者は OR=3.35 (1.34-8.36)であった。</p> <p>結論： 以上の結果から葉酸関連酵素の遺伝子多型は飲酒習慣と膵臓癌リスクの関係に影響を及ぼすことが判明した。</p>	